

株 主 の 皆 様 へ



第104期 報 告 書

2018年1月1日 ▶ 2018年12月31日

JUKI 株式会社

証券コード：6440

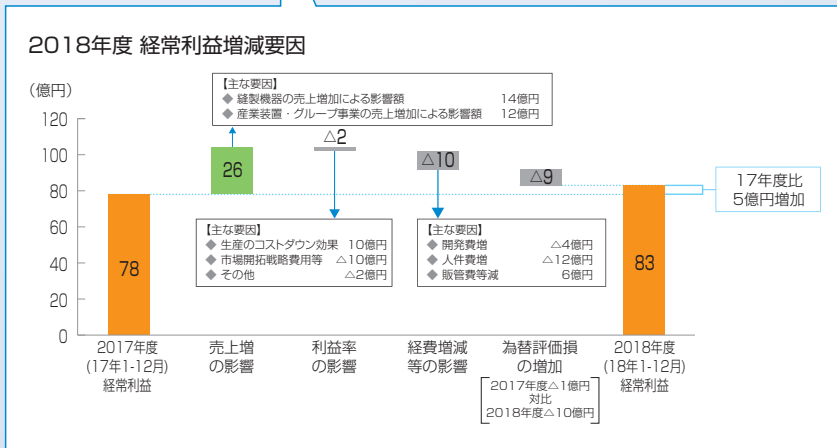
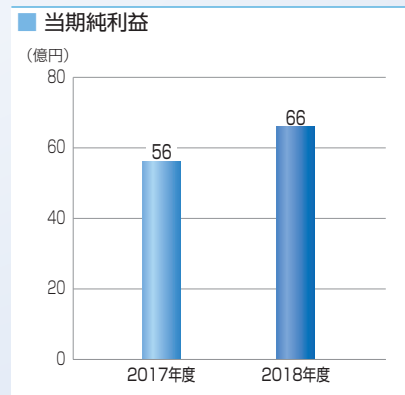
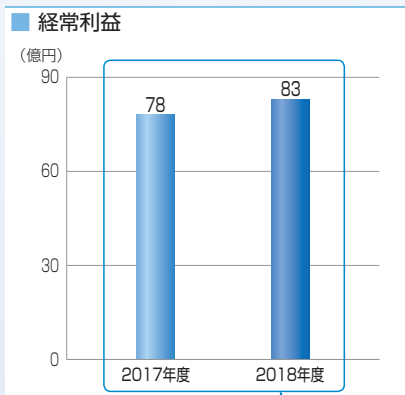
業績のポイント

売上高は、ソリューション営業を推進するとともに、アジア市場を中心としたミドルマーケットでの顧客開拓を推進した結果、一部生産遅延の影響はあったものの、前年比8.1%の増収。利益面は、ミドルマーケットの市場開拓戦略費用、先端開発費用の増加はあったものの、売上増により、営業利益は前年比12.2%の増益。一方ドル安により為替評価損が拡大したことなどから経常利益は前年比7.0%の増益。

売上高 1,120億円 (前年同期比 84億円の増加)
 経常利益 83億円 (前年同期比 5億円の増加)

当期純利益 66億円 (前年同期比 10億円の増加)
 年間配当金 30円/株 (普通配当)

(参考：前年実績 年間配当35円/株 (普通配当25円、記念配当10円))



株主の皆様には平素より格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

当社第104期報告書（2018年1月1日から2018年12月31日まで）のお届けにあたりまして、一言ご挨拶を申し上げます。

当期においては、お客様の省力化・省人化ニーズに合った製品・サービスや工場全体の生産効率を高めるスマート工場などを提案するソリューション営業活動に取り組むとともに、将来に亘る磐石な顧客基盤の構築のため、アジア市場を中心としたミドルマーケットでの顧客開拓を推進してまいりました。その結果、電子部品の供給不足などによる一部の生産遅延の影響はあったものの、アジア及び中国の活発な設備投資需要を着実に取り込むことが出来たことにより、売上高は1,120億6千4百万円（対前年同期比8.1%増）となりました。

利益面につきましては、ミドルマーケットの市場開拓戦略費用や先端開発費用の増加はあったものの、全般的には売上が増加したことで、営業利益は91億4千8百万円（対前年同期比12.2%増）となりました。一方、営業外においては外貨債権の評価替に伴う為替差損が増加したことなどから、経常利益は83億8千5百万円（対前年同期比7.0%増）、親会社株主に帰属する当期純利益は66億4千万円（対前年同期比17.7%増）となりました。

配当につきましては、当期の業績に加え、将来に亘る磐石な事業基盤を構築すべく、積極的な開発投資、設備投資を行っていくための内部留保等を総合的に勘案しつつ、安定的な配当による株主様への利益還元の実現に努めることを基本方針としております。

この方針を踏まえ、第104期の期末配当につきましては、前期の普通配当25円に対しまして5円増配し、1株につき30円とさせていただきます。

当社は、昨年の12月15日に創立80周年を迎えました。当社グループが次の90年、100年へと将来に亘って継続的に成長していくため、長期ビジョンとしての「21世紀を生き抜くグローバルでイノベティブ（革新的）なものづくり企業」のもと、今年度は2019年度から2021年度の3年間の中期計画ビジョンである「お客様に選ばれる高品質な製品・サービスを提供しつづける企業」の着実な実現を目指してまいります。

世界経済が不安定さを増し減速の懸念があり、一方で技術革新の動きが加速する中で、このビジョンを実現するために、ものづくり企業からことづくり企業への転換を進め、ソリューション営業での価値創造力の強化や市場開拓による顧客基盤の構築、グローバルでイノベティブ（革新的）な人材の育成・活用やスマートな事業基盤の構築等、オープンイノベーションを活用し、さらなる事業領域の拡大に取り組んでまいります。

株主の皆様におかれましては、一層のご指導とご支援を賜りますようお願い申し上げます。



代表取締役

清原 晃

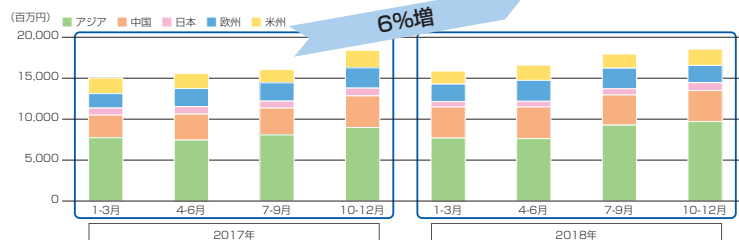
縫製機器&システム事業（工業用ミシン・家庭用ミシン）

市場別では中国などのハイエンド分野での売上は堅調に推移し、また、アジア市場におけるミドルマーケットでの売上も前年同期より増加してきていることから、縫製機器&システム事業全体の売上高は736億1千5百万円(対前年同期比6.6%増)となりました。

● 工業用ミシン製品の売上高:前年同期比較(単位:億円)

	2017年 (1-12月)	2018年 (1-12月)	増減額
アジア	322	343	20
中国	131	151	21
日本	36	31	△ 5
欧州	87	93	6
米州	75	72	△ 3
合計	651	690	39

○ 工業用ミシン製品の地域別売上高推移



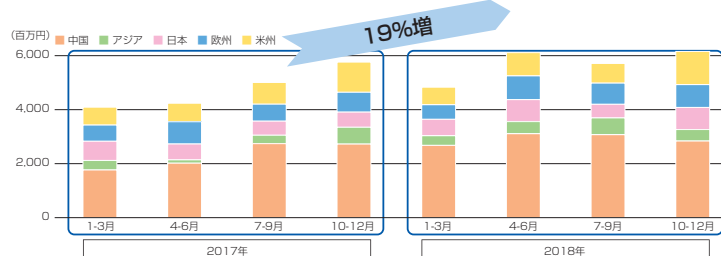
産業機器&システム事業（産業装置、グループ事業、カスタマービジネス）

産業装置では最大の市場である中国やアジアにおける設備投資需要が旺盛であるなか、新型マウンタやスマートファクトリー提案で展開する省力化装置などの売上が増加し、また、受託加工等のグループ事業でも顧客開拓が進んでまいりました。しかしながら、生産遅延により一部の需要に応えられなかったこともあり、産業機器&システム事業全体の売上高は381億8千2百万円(対前年同期比11.4%増)となりました。

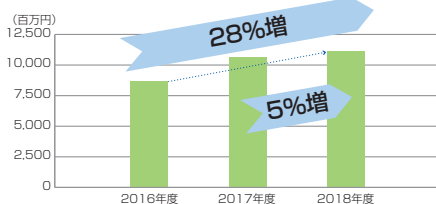
● 産業装置の売上高:前年同期比較(単位:億円)

	2017年 (1-12月)	2018年 (1-12月)	増減額
中国	92	117	23
アジア	14	19	5
日本	24	27	4
欧州	28	30	2
米州	33	35	2
合計	191	228	36

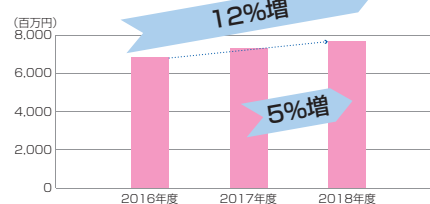
○ 産業装置の地域別売上高推移 (含むパーツ・サービス)



● グループ事業の売上推移



● パーツ事業の売上推移



1. 2019年度通期業績予想

(億円)

	2018年度 実績	2019年度 業績予想
	通期 (1-12月)	通期 (1-12月)
売上高	1,120	1,140
縫製機器&システム	(736)	(750)
産業機器&システム	(381)	(390)
営業利益	91	73
経常利益	83	68
当期純利益	66	50
配当	通期：30円/株	通期：30円/株
為替レート	1ドル=111円	1ドル=105円

2. 環境認識

事業環境

- **世界経済は、不安定さを増し減速の懸念**
 - ・米中貿易摩擦、英国EU離脱、地政学的リスク、円高リスク
- **技術革新（「もの」から「こと」へ）の動きが加速**
 - ・AI、ロボット、クラウド等への関心拡大
- **異業種・他業態との競争の激化**
 - ・中国ミシンメーカーの成長、自動化に向けた異業種参入

顧客ニーズ

- **スマートカンパニー・ファクトリーへ積極投資**
 - ・デジタル化、システム化、自動化ソリューションの導入

企業への要請

- **先進的な経営体制の構築**
 - ・働き手不足・働き方改革への対応、生産性向上、ESG対応
- **利益重視の経営**
 - ・毎年の増収増益、配当の安定化、自己資本の拡充

1. 中期経営計画の取り組み ビジョンと5つの基本方針

中期計画「Value up 2022」の3年目(2019年度-2021年度)スタート

ビジョン

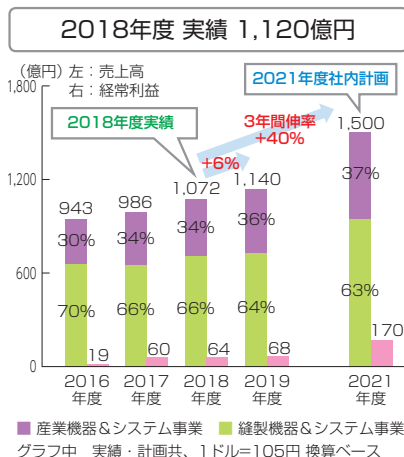
お客様に選ばれる高品質な製品・サービスを提供しつづける企業
～世界中のお客様へ「感動と安心」をお届けしよう!!～

基本方針

- | | |
|------|--|
| 事業戦略 | ① ソリューション営業での価値創造力の強化
～先端開発強化、 オープンイノベーション活用 、 プラント営業の展開 |
| | ② 市場開拓による将来の顧客基盤構築 |
| | ③ 将来を見据えたビジネスカテゴリーの創出と強化
～グループ事業、 サービスソリューション事業 、 非実装市場開拓 |
| 体制戦略 | ④ ビジョンを実現するグローバルでイノベティブ（革新的）な人材の育成と活用 |
| | ⑤ スマートな事業基盤の構築（プロセスのSmart & Connected化）
～SCM見直し、製品原価低減、働き方改革、戦略的環境投資実施 |

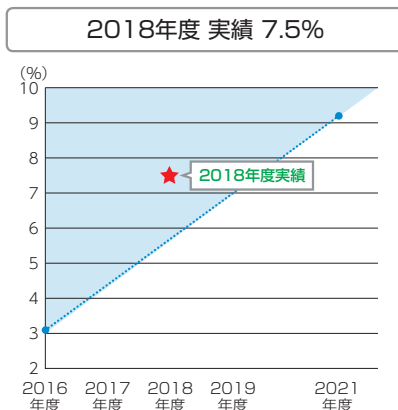
2. 中期経営計画の取り組み 進捗状況

【売上高・経常利益】
(目標：年間9%増収)



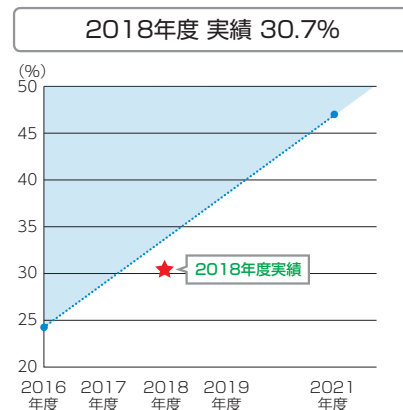
【経常利益率】

(目標：2021年度 9.2%以上)



【自己資本比率】

(目標：2021年度末 47%以上)



2019年度重点施策（縫製機器&システム事業：工業用ミシン）

1. 工業用ミシンの重点施策

ビジョン	JUKI Smart Solutionsのもと、革新的技術とシステム提案によりお客様のイノベーションに貢献
基本方針	ミドル顧客の開拓 とハイエンドへの移行による将来の顧客基盤を構築 ①ミドル攻略 ②プラント提案営業 ③アライアンスの活用
重点施策	<ul style="list-style-type: none"> ・成長するミドルユーザーとの取引拡大 ・大手ユーザーとの関係強化と中長期的な投資ビジネスの獲得 ・ノンアパレル分野の更なる拡大 ・アライアンス活用による事業領域の拡大

2. JUKIが提案するスマートファクトリー（JUKI Smart Solutions）

《ハイエンド向け》
 デジタルシリーズを
 軸とした
 ラインソリューション



《生産性向上・省人化》



自動機



ロボット縫製



自動搬送装置 (AGV)

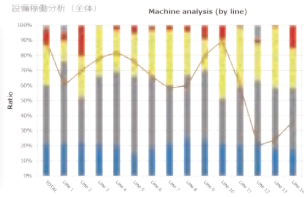


《ミドル向け》
 シンプルシリーズを軸としたラインソリューション






《JaNets》
 IoT活用による現場改善



設備稼働分析 (全体) Machine analysis (by line)



1. 家庭用ミシンの重点施策

ビジョン 趣味力の高いお客様（Home Sewer）と新たな楽しみの創造

基本方針 強みである高級家庭用・小型ロック・職業用・キルトを中心に事業を拡大

重点施策

- ・ JUKIの強みを活かした製品展開で、ホビー・クラフトマーケットを攻略
- ・ 市場規模が大きく、かつハイエンド市場のある主要3市場(日米欧)に注力して拡販と利益改善
- ・ マーケティング強化とブランド力の向上
- ・ ニーズ探索、情報発信力強化によるユーザーの囲い込み
- ・ アクセサリーパーツの拡販

市場の特性にマッチしたラインナップ強化



1. 産業装置の重点施策

ビジョン	得意分野への集中と自動化・省人化ソリューションで、顧客にとってなくてはならない事業パートナーへ JM+ロボット、自動倉庫+周辺機器の拡販
基本方針	<u>非マウンタ領域でのソリューション拡大</u> とマウンタ領域でのラインソリューション拡充により事業基盤を拡大
重点施策	<ul style="list-style-type: none"> 顧客層別販売戦略・商品戦略の推進 新製品投入による販売拡大及び粗利率の改善 ソリューション営業による省力化装置、自動倉庫、提携商品の拡販

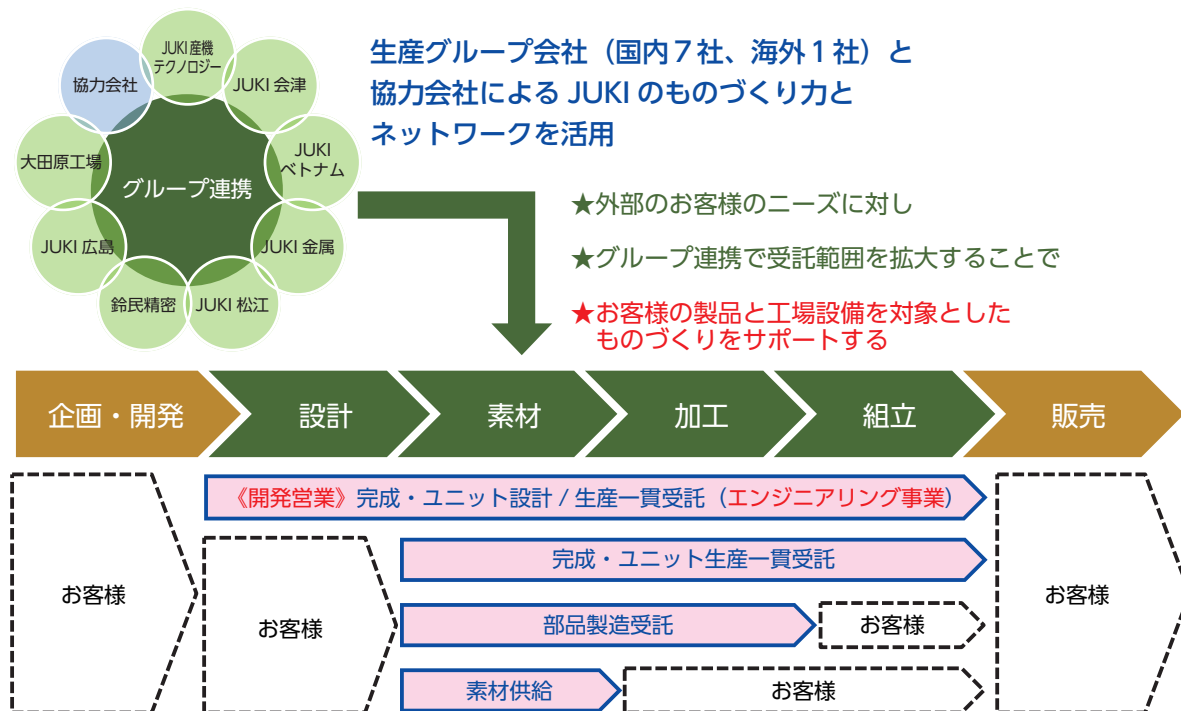
2. JUKIが提案するスマートファクトリー（JUKI Smart Solutions）



1. グループ事業の重点施策

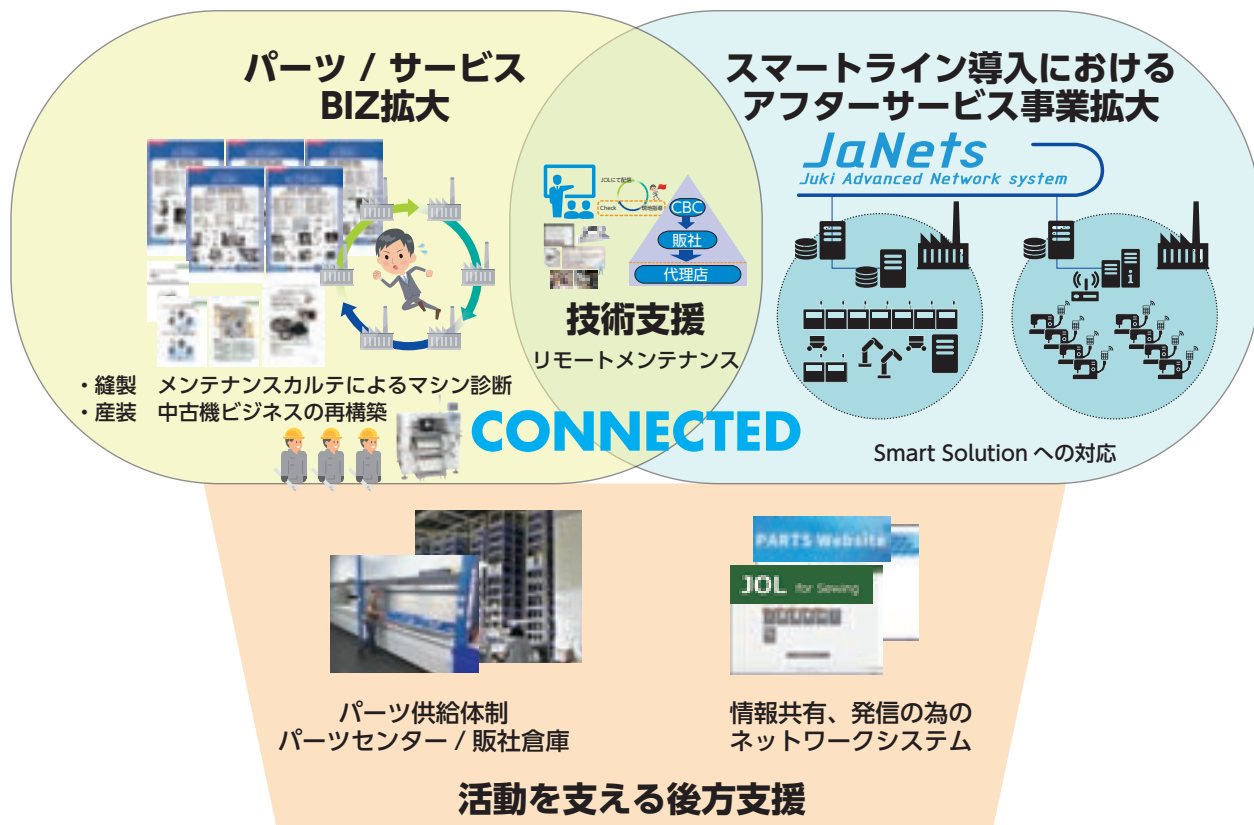
ビジョン	JUKIグループの経営資源（製造技術含む）を活かしJUKI第三の柱へ
基本方針	新規顧客開拓と重要顧客の間口拡大 で、第三の柱とするべく売上を拡大 ～2021年に売上目標160億円を達成
重点施策	<ul style="list-style-type: none"> ・重要顧客の間口拡大による売上拡大 ・保有技術活用（本社&グループ各社）による顧客製品、工場設備サポート業務の推進

2. JUKIが提案する一貫受託サービス（JUKI Contract Business Model）



1. カスタマービジネスの重点施策

ビジョン	今日頼んだものが、明日必ず手に入るJUKI部品
基本方針	<u>システムサポート/リモートメンテナンス/設備診断</u> によるパーツ拡販と縫製サービスの事業化
重点施策	<ul style="list-style-type: none"> ・新規商材の拡大 ・縫製事業分野での設備診断によるサービス事業の確立 ・マーケット拡大、商材の拡大、拡販体制の拡充（後方支援）を継続推進 ・中古機ビジネスの再構築



連結財務諸表（要旨）

連結貸借対照表

(百万円)

科目	前期	当期	増減
	2017年12月31日現在	2018年12月31日現在	
資産の部			
流動資産	79,102	88,059	8,957
固定資産	31,451	31,062	△ 389
資産合計	110,554	119,121	8,567
負債の部			
流動負債	55,589	59,267	3,678
固定負債	21,621	22,612	991
負債合計	77,211	81,880	4,669
純資産の部			
株主資本	33,468	39,082	5,614
その他の包括利益累計額	△ 742	△ 2,552	△ 1,810
非支配株主持分	617	711	94
純資産合計	33,343	37,241	3,898
負債純資産合計	110,554	119,121	8,567

連結損益計算書

(百万円)

科目	前期	当期	増減
	2017年1月1日から 2017年12月31日まで	2018年1月1日から 2018年12月31日まで	
売上高	103,659	112,064	8,405
売上原価	71,748	77,921	6,173
売上総利益	31,911	34,143	2,232
販売費及び一般管理費	23,755	24,995	1,240
営業利益	8,156	9,148	992
営業外収益	840	1,106	266
営業外費用	1,157	1,868	711
経常利益	7,839	8,385	546
特別利益	39	17	△ 22
特別損失	151	50	△ 101
税金等調整前当期純利益	7,727	8,353	626
法人税等	2,029	1,573	△ 456
当期純利益	5,697	6,780	1,083
非支配株主に帰属する 当期純利益	54	139	85
親会社株主に帰属する当期純利益	5,642	6,640	998

会社情報（2018年12月31日現在）

■ 会社概要

商号	JUKI株式会社
創立	1938年12月15日
資本金	180億4,471万円
本社	東京都多摩市鶴牧二丁目11番地1
決算期	12月
営業品目	工業用マシン／産業装置／家庭用マシン他
従業員数	5,891名（連結）
連結子会社数	26社

■ 株式の状況

- 発行可能株式総数…………… 80,000,000株
- 発行済株式総数…………… 29,874,179株
- 株主数…………… 9,938名

JUKI 株式会社

〒206-8551 東京都多摩市鶴牧二丁目11番地1
TEL：042-357-2211

<http://www.juki.co.jp>

■ 大株主

株主名	持株数(千株)	持株比率(%)
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社（信託口）	1,960	6.69
日本マスタートラスト信託銀行株式会社（信託口）	1,296	4.42
GOVERNMENT OF NORWAY	1,294	4.41
株式会社みずほ銀行	938	3.20
日本生命保険相互会社	732	2.49

■ 所有者別株式分布状況

